

## 各地域懇談会（第 1 回）の開催概要

### 1 古川地域懇談会

- (1) 開催日時：令和 4 年 1 1 月 1 4 日（月） 午後 7 時～9 時  
 (2) 開催場所：大崎市地域交流センター 2 階 研修室 1・2  
 (3) 出席者：古川まちづくり協議会，志田東部地区振興協議会，志田中部地区振興協議会，西古川地区振興協議会，東大崎地区振興協議会，高倉地区振興協議会，古川商工会議所，おおさき青年会議所，大崎市工業会，古川高等学校 PTA，古川黎明高等学校 PTA，古川学園高等学校 PTA，大崎中央高等学校 PTA

※ 欠席（みやぎ大崎観光公社，古川工業高等学校 PTA）

#### (4) 参加者意見の概要

##### ア 古川まちづくり協議会

鉄道だけでなくバスも公共交通として考えなければならぬと感じた。数年ほど前に、課題を探るために、何日間か地域の有志 4～5 人で市民バスを利用したことがあった。陸羽東線にも「この期間は乗ってみよう」という期間があっても良いと思う。

##### イ 大崎中央高等学校 PTA

懇談会に出席している方々は問題を理解して出席していると思うが、果たして地域住民が問題を理解して危機感を持っているか疑問である。地域住民に問題を理解させる機会の設定や、理解させる方策が必要である。また先進地の事例を紹介いただきたい。

##### ウ 志田東部地区振興協議会

塚目駅の移転を目指していたが、急きょ移転が中止になり、今回の JR の情報公開で大変衝撃を受けている。塚目駅の改善も大切だが、鉄道の存続が何よりも重要である。どうしたら鳴子温泉まで利用する乗客を増やせるか意見を出し合いたい。他地域の温泉郷の策（ビジネスパック）を参考にしたり、仙台～鳴子温泉間の直行便を作ったり、運賃込みの宿泊券の販売の企画等を考え誘客に繋げる方法を考えていきたい。

##### エ 古川学園高等学校 PTA

陸羽東線を利用するのはこの地域の方々だけではないので、石巻市や登米市など遠方から通っている利用者から意見等を集めてはどうか。また、アニメ等で聖地巡礼などがあるが、そういった魅力的なアイデアを出して、学生だけでなく色々な方の意見を募るのも良いと思う。

##### オ 志田中部地区振興協議会

自分が通学利用していた時は満員状態だったが、現在は朝に学生が数人乗る

だけという状況。職員アンケートだけではなく、実際の利用状況について市で把握してほしい。陸羽東線を存続させるためには、観光と鳴子をメインにしてどのようにしていくかが、一番の問題だと思っている。

#### **カ 古川黎明高等学校 PTA**

遠くから通学している学生にとっても陸羽東線は必要なものであるので広く意見を募ることは非常に良いと思う。通学だけでなく、観光によって沿線の活性化、陸羽東線の利用促進を考えていけたらよい。スキー場、鳴子温泉郷、行政が一体となった策を考えていけたらよい。

#### **キ 西古川地区振興協議会**

陸羽東線は地域住民にとって大事な足であることは間違いないが、果たして住民がこの問題を自分事として捉えられているのか。自分事として捉えてもらえるようにすることが大切である。ローカル線の取り組みについて他の事例を示してほしい。

#### **ク 古川高等学校 PTA**

沿線の高校に通っている生徒の利用は高いと思う。職員アンケートの利活用促進アイデアに大学誘致があったが、既に魅力的な高校が沿線にあるので、そのアピールが必要ではないか。ETCのように、時間帯で利用運賃に差をつければ、乗客数が増えるのではないか。これだけ観光地があればターゲットとしては良い。駅やまち自体が静まりかえっていればそこに人は動かない。観光資源が無い訳ではないので、大崎市にある資源で魅力ある住みやすいまちづくり、そのアピールが必要なのではないか。

#### **ケ 東大崎地区振興協議会**

地域の無人駅を JR に許可をいただき駅構内に地域の情報を掲示している。駅のトイレや駐輪場の街灯など、駅の施設整備が必要。駅によっては、跨線橋で高齢者が利用しにくいという声がある。古川駅の空き店舗部分に診療所やデパートなどが入れば、高齢者が陸羽東線を使う理由になるし便利になるのではないか。

#### **コ 大崎市工業会**

働いている従業員は古川地域や周辺地域に住んでいる。魅力がないとこの地域に人がいなくなってしまう。今の子ども達は子供時代に地元の良い思い出が無いと東京に出たまま戻ってこない。そうすると企業は人を集められず、仕事は有っても規模を拡大できなくなってしまう。鉄道と工業は密接。一度鉄道が無くなってしまったら二度と復活は難しいと思うので、存続してほしい。運営は JR であるので、こちら側から儲からないのなら BRT 化はどうかという提案を敢えてする必要はないと思う。今後の運営に見通しが立つようなアイデアを出せるよう意見交換していきたい。

### **サ 高倉地区振興協議会**

古川から鳴子温泉方面は観光客の利用が多いが、通勤・通学、通院利用者は減っているので、駅を聖地化するなどして交流人口を増やすことが必要ではないか。

### **シ おおさき青年会議所**

陸羽東線は通勤・通学、観光に重要なインフラであり、陸羽東線は地域の原風景である。通勤・通学利用者の増と、観光資源の活用の二方面から意見交換ができればと思う。陸羽東線は県境を跨ぐことから、山形県の沿線地域住民とも意見交換ができれば有意義ではないか。

## **2 岩出山地域懇談会**

(1) 開催日時：令和4年11月17日（木）午後6時30分～午後8時20分

(2) 開催場所：大崎市岩出山総合支所 3階大会議室

(3) 出席者：岩出山まちづくり協議会、まやま自治会、池月地域づくり委員会、上野目自治協議会、西大崎地域自治協議会、岩出山地域づくり委員会、玉造商工会、岩出山観光協会、岩出山中学校PTA、岩出山地域内公共交通運営委員会

※ 欠席（岩出山高等学校PTA）

(4) 参加者意見の概要

### **ア 岩出山まちづくり協議会**

JRが発足し35年以上になるが、乗車人数はかなり減少している。我々も車で移動していることも減少の原因かと思う。東日本大震災でかなり被害を受けたとき、陸羽東線のありがたみを感じた。陸羽東線は石巻～小牛田～酒田までつなぐ東北の大動脈。陸羽東線を残すためにはどうしたらいいか考えていきたい。

### **イ 岩出山地域内公共交通運営委員会**

中山平温泉は観光名所なので、大崎市として観光面の施策について考える必要があるのではないかと。また、何年度に1日1500人など目標がないと、具体的な活動ができないと思われる。地域内公共交通運営委員会として、陸羽東線を使う場合に、例えば乗合タクシーで岩出山駅まで利用したときの運賃を安くするなど考えたことはあるが、岩出山駅は跨線橋の階段があり、なかなか高齢者は駅の利用が難しい。ファンクラブを作り、陸羽東線の情報や、特典を与えたりするのも良いのではないかと。と思う。

### **ウ まやま自治会**

まやま地区は岩出山地域で唯一陸羽東線の駅がない地域であり、家族に列車で通学する子供がいないと関心を持ちにくい。誰かが守るという受け身ではなく、地域の人間が積極的に関わっていくことが重要。列車に乗らないと体験できない

ものを地域で話し合いたい。気仙沼市のBRTも良い取組みだと思う。

#### **エ 岩出山中学校PTA**

陸羽東線に乗る人が少ないことが身に染みた。子供たちのことを考えた場合に、学校が駅から遠いことや、駐輪場の料金が負担であることなど改善が必要だと感じる。また、陸羽東線と東北本線の乗り継ぎ時間が長いため、時間の短縮ができればと思う。企業が陸羽東線を利用した場合に、補助金や減税などの特典があればいいのではないか。

#### **オ 池月地域づくり委員会**

通勤・通学に車を使っている人は確かに多いが、高齢化も進んでおり、自家用車の有無に関わらず、陸羽東線が無くなると困る人は多いと思う。存続に向けて皆で考えていきたい。

#### **カ 岩出山観光協会**

陸羽東線に5人も乗っていると驚くくらい、いつも乗車人数が少なくて寂しい感じがしている。利用者に話を聞いたところ、新緑や紅葉の時期を除くと、景観が寂しいということだった。陸羽東線の沿線地域で、それぞれ異なる植物を植えるなどして区間ごとに風景が変わると、景観の向上だけでなく「岩出山地域に入った」と地域を覚えてもらえてよいのではないか。駅までの公共交通の利便性を向上させたり、駅の近くに買い物をする場所があったりすると使いやすいと思う。

#### **キ 上野目自治協議会**

昔は車両数が多く、ホームからはみ出るくらいだったが、今は2両しか走っていない。利用者は学生が主だと思うが、岩出山高校の存続が危ぶまれており、陸羽東線の存続以前に高校の存続を考えなければならない。陸羽東線で仙台から鳴子へ観光に来た時に、クーポンを発行するのも良いと思う。地元として、陸羽東線を使ってくださいと宣伝してもいいが、上野目駅には駐車場が無い。まず周辺整備を考えてはどうか。

#### **ク 玉造商工会**

イベントの実施などで単発的に利用者を増やすことは協力できるが、それだけでは対策にならないと思う。自家用車で紅葉を見に来る人に陸羽東線を使ってもらえればと思うが、東北本線や新幹線と乗り継ぎが良くないこともあり、陸羽東線の乗車に結びつかない。

有備館駅の関係でJRとも連携していたが、今はなかなか連携できていない。無いものに頼るのではなく、今走っている陸羽東線を何とかしたいと思う。

#### **ケ 西大崎地域自治協議会**

JRの発表を受け、大きなショックを受けた。有備館駅は住民の寄附金も寄せられて造られたもの。地域を挙げて西大崎、上野目の駅名の改称に取り組んだこ

ともある。利活用策は職員アンケートにほとんど挙がっている。その実現に向け、住民の気持ちをどのように盛り上げていくかが重要。JRへ「検討会議をしました」と報告するだけでなく、明日からでも利活用策の実現に向けて動き始めるなどのアピールが大切。夢物語ではあるが、SLを毎日運行するのも良いと思う。

#### **コ 岩出山地域づくり委員会**

少子化・人口減少・空き家・高校の存続など、さまざまな地域課題が背景にあり、複合的な対策が必要だと思う。鳴子の観光が衰退しているが、高付加価値化に期待している。沿線地域が協力し、連携しながら一緒に考えていければと思う。懇談会は、沿線地域ごとに開催しているが、今後3地域の意見交換の機会があればよい。

### **3 鳴子温泉地域懇談会**

- (1) 開催日時：令和4年11月16日（水） 午後7時～9時
- (2) 開催場所：鳴子総合支所2階 研修室1・2・3
- (3) 出席者：鳴子まちづくり協議会，鬼首地域づくり委員会，中山地区コミュニティ連絡協議会，鳴子地域づくり委員会，東鳴子地域づくり委員会，川渡地域づくり委員会，鳴子岫地域づくりネットワーク，鳴子温泉郷観光協会，玉造商工会，鳴子中学校PTA，鳴子小学校PTA，鳴子御殿場駅乗車券類発売管理組合
- (4) 参加者意見の概要

#### **ア 鳴子まちづくり協議会**

あることが当たり前の陸羽東線。陸羽東線を廃線にしないための会議というのはとても良いことだと思う。鳴子だけでなく、最上など、沿線地域が盛り上がる必要がある。まちづくり協議会から各地域づくり委員会にこの問題について話をさせてもらい、色々とアイデアを出してもらおうなどして進めていきたい。

#### **イ 鳴子御殿湯駅乗車券類発売管理組合**

鳴子御殿湯駅の維持費が年間200～250万程かかる。無人駅になった時からJRから切符の売り上げに対する手数料をいただいているが、足りない部分は地元旅館，地域団体に協力いただいて維持している。売り上げはどんどん減少しており，維持するのが大変な状況である。

#### **ウ 鬼首地域づくり委員会**

唯一鉄道の通っていない地域ではあるが，通学に使っている子どもが5人程いるので，陸羽東線が無くなれば当然大変なことである。特に鳴子温泉は鉄道のお陰で繁栄してきたと強く思っている。DESTINATIONキャンペーンも何回かやっていただいた。色々なJRのキャンペーンに鳴子温泉が協力することはあったが，これからは両者が一緒になって考える時代がきたと思っている。鉄道の力

はまだまだあると思うので、今後の会議等で鳴子らしさを深めていきたい。

#### **エ 鳴子小学校 PTA**

かつて学校の先生や役場職員、旅館のパート社員等色々な面々が電車に乗っていた。JR 社員は川渡あたりから乗車する人が多かったが、現在は JR 社員でさえ車で通勤している。鳴子小学校の今年の入学者は5名。旧古川市以外は同じような状況で合併の話も出ている。長い視点からの提案をしていかなければいけない。

#### **オ 中山地区コミュニティ連絡協議会**

かつては中山平温泉駅も通勤通学で利用が多かったが、ダイヤの改正で時間が合わなくなったり、マイカー通勤が増えたりして利用が減少した。小中学校は統廃合の結果スクールバスに切り替えられ、高校生は中山平温泉駅だとダイヤが合わず、鳴子温泉駅に送迎されている。新幹線と陸羽東線のアクセスが悪く、乗り換えも含むと、鳴子温泉から古川に行く時間と、古川から東京へ向かう新幹線の移動時間がほとんど変わらない。根本的なところを変えていかないといけない。今後どのような形で誘客するのか、そして維持していくか議論していきたい。

#### **カ 鳴子中学校 PTA**

小中学校の統合が差し迫っており、子どもの減少が顕著だが、高校への通学には陸羽東線が欠かせない。岩出山から市外高校へ通学している生徒もいる。

しかし、通学利用者ばかりを頼りにはできないので、計画的な部分では、いかにして鳴子に陸羽東線で来てもらうかということになる。この部分に関しては、なぜ鳴子が衰退したかをテーマに、鳴子中学校でもディスカッション等を行っている。中学生の柔軟な意見やアイデアをまとめていきたい。

#### **キ 鳴子地域づくり委員会**

子どもが減り、高校生の陸羽東線の利用人数が減っている。自分自身も、普段から自動車の利便性を享受してしまっている。陸羽東線をどのようにして利用していくかということは本当に大切なことだと痛感している。鳴子に移住された方からの意見では「中山平までは残してほしい」、「鳴子峡のトンネルを抜けたところでゆっくり走るところが大きな魅力になっている」というものがあつた。私たちの地域づくり委員会の中でも色々な角度から考えてみたい。鉄道を使う頻度を高めていく工夫が必要である。

#### **ク 玉造商工会**

震災があり、現在はコロナ禍で大変厳しい状況。商店街や温泉街の呼び込む力がかかり落ちている。震災前は鳴子温泉エリアの旅館組合が35件ほどあつたが現在は18件。電車は経済的なことだけではなく、地方を豊かにしていくことを大前提にしてほしい。事例をみると鉄道から道路に切り替えるところもあるが、道路の維持管理が大変だと思う。

これまで観光とは、来たお客さんにお金を使ってもらうことだけを目的にして

いたが、実はそうではなく、地域に住んでいる商業・工業・農業の土台がないと観光は成り立たない。同じ方向を向いて知恵を出し合いたい。

#### **ケ 東鳴子地域づくり委員会**

JRは公共交通機関として当たり前にあるもの。この問題はJRだけの問題ではなく、日本が人口減少に伴い子どもの数が減っていることも背景にある。大崎市においては本腰を入れてこのような体制作りをしたということは有意義で素晴らしいと思っている。ただ議論をしていては遅きに失するので、先手でやっていかなければ乗り遅れる。我々も建設的な意見を出していきたい。

#### **コ 鳴子温泉郷観光協会**

陸羽東線は鳴子温泉郷をはじめ沿線の観光地を支えてきた路線であると思っている。しかし、懐かしさや鉄道ファンの想いだけでの存続が難しいことは理解している。国道と鉄道が並行して走る路線なので、場合によってはバスなどのきめ細かい運行の方が、この地域に対応できるのではないかという議論は当然出てくると思われる。特に大事なものは二次交通。市民のためにお金を遣うことは観光業界にも直結すると思うので、そういう視点に立つとより投資しやすくなるのではないか。

#### **サ 川渡地域づくり委員会**

鳴子温泉は鉄道とともに栄えてきたと感じている。ただ懐かしだけでは駄目だとは思っているが、何かヒントが出てくるのではないかと感じている。生活路線としての現実は一厳しいというのは仕方がない。鳴子温泉の場合は観光の足として、より多く利用してもらうための魅力をつくっていくことに尽きる。おおさきの宝大使の方々の、陸羽東線に対するアイデアを聞けるような研修会があってもよいのではないか。

#### **シ 鳴子山地域づくりネットワーク**

陸羽東線が危機的状況になったのは自動車産業が発展したためだと思う。電車での修学旅行などがなくなりバスに変わり、通勤の方々も減り寂しい陸羽東線になった。陸羽東線で観光にいくと、駅のブリッジを渡らなければならないのが、荷物の多い外国人や高齢者にとっては大変。しかし、昔の写真などブリッジを登らないと見えないものもある。話合いの中で、これからの陸羽東線に向けて知恵を出し合いたい。